

2012年度 事業報告

自 2012年4月 1日
至 2013年3月31日

公益財団法人 日揮・実吉奨学会

2012年度の事業報告をいたします。

I. 事業の概況

はじめに、収支の総括を行います。

【収入】

当期収入合計は、5億8,155万円となり、予算を3,353万円超過しました。

この予算比収入増は、主に次のような収入増によります。

- ・基本財産運用収入 2,077万円増
- ・特定資産運用収入 278万円増
- ・貸与奨学金返還収入 983万円増

基本財産運用収入および特定資産運用収入につきましては、依然として厳しい運用環境が続くものと想定して予算を設定していましたが、為替が想定より円安に推移したこともあり、結果として2,355万円増となりました。

【支出】

当期支出合計は、4億9,588万円となり、予算を1,107万円下回りました。

この予算比支出減は、主に次のような支出減によります。

- ・事業費支出 881万円減
- ・管理費支出 126万円減
- ・予備費支出 100万円減

事業費支出減につきましては、後述の事業毎のご報告をご参照ください。

【収支差額】、【次期繰越収支差額】

以上の結果、当期収支差額は 8,567 万円（黒字）となり、これと前期繰越収支差額 1 億 9,912 万円との合計 2 億 8,479 万円が次期繰越収支差額となりました。

【その他】

① 会計基準

当会は、2009 年度（すなわち 2010 年 3 月期）から 2008 年会計基準（いわゆる新々会計基準）を採用し会計を行っております。

② 株式評価益

保有株式の時価評価により、当期期首と期末比で 15 億 6,860 万円の株式評価損を計上しております。

（期首時価 2,565 円/株、期末時価 2,379 円/株）

③ 公益事業比率実績

86.3%となっており、新法の定義による公益目的事業費率の基準「50%以上」を達成しております。

次に、事業毎に報告いたします。

1. 日本人学生向け奨学事業

1-1. 貸与奨学金

2011年度から、貸与奨学生への新規募集を停止したことに伴い、2012年度の貸与奨学生の総数は86名（前年度比130名減）、奨学金貸与実績額は、3,558万円（前年度比5,328万円減）で予算を341万円下回りました。これは、①辞退者があったこと（5名）、および②休学・留年による支給停止が発生したこと（5名）によるものです。〔付表1ご参照〕

2012年度の貸与奨学金返還対象者数は1,304名で、これらに返還案内を行いましたところ、年度末までに1,230名から予算を983万円上回る1億6,683万円が返還されました。返還率は93.4%です（前年度実績は95.5%）。未返還者には引き続き督促中です。

1-2. 給与奨学金

2012年度も一人当たりの奨学金を年額30万円とした上で、当会指定73大学に対し、337名（大学院生162名、学部生175名）の募集を行いました。その結果、73大学から合計334名（大学院生162名、学部生172名）の推薦があり、選考委員会において334名全員を採用しました。その後、奨学金の辞退者1名（4月から11月分まで20万円支給）と退学者1名が出た結果、奨学金受給者数は332名、支給額は9,980万円となり、予算1億110万円を130万円下回りました。

また、東日本大震災の特別枠（一人当たり年額30万円）として、前年度に支援した被災地の指定大学（東北大学25名／岩手大学15名／茨城大学2名）に加え、指定大学の日本大学・郡山校（14名）、および指定大学でない東北工業大学（8名）／東北学院大学（8名）／福島大学（3名）、合計75名の募集を行いました。その結果、対象大学から合計75名の推薦があり、選考委員会において75名全員を採用しました。その後、辞退者

3名が出たことにより、奨学金受給者数は72名、支給額は2,160万円となりました。したがって、最終的な奨学金受給者総数は404名、支給総額は1億2,140万円となり、予算1億2,360万円を220万円下回りました。[付表1ご参照]

2. 国外からの留学生向け奨学事業

2-1. 第一種給与奨学金

第一種給与奨学生の採用枠は前年同様10名とし、前年度から継続支給する5名を除いた5名を新規採用枠として、指定4大学に志望者の推薦を依頼したところ、新たに5名の推薦がありました。これを6月13日開催の選考委員会において選考の上、継続希望者を含め10名の採用を決定しました。継続者のうち1名が9月に卒業したことにより、支給実績は予算1,200万円（一人当たり月額10万円）を60万円下回った1,140万円となりました。[付表1ご参照]

2-2. 第二種給与奨学金

第二種給与奨学金は、指定64大学の私費留学生在籍状況を勘案した結果、125万円3大学、100万円10大学、75万円5大学、50万円40大学、25万円6大学、支給実績は予算通り3,900万円となりました。第二種給与奨学生の総数は12カ国144名（前年度は15カ国148名）で、一人当たりの平均支給額は27万円（前年度実績26.3万円）です。[付表1ご参照]

2-3. 第三種給与奨学金

指定31大学に募集を行いましたところ16大学より19名の応募があり、6月13日開催の選考委員会において9名を採用し、継続者7名を加えて16名の採用となりました。継続者のうち1名が9月に卒業したことにより、支給実績は予算3,456万円（一人当たり月額18万円）を108万円下回った3,348万円となりました。[付表1ご参照]

3. 奨学生および大学担当部門との面談・交流

3-1. 指定大学訪問

例年通り 10 月上旬から 12 月下旬にかけて、全 73 指定大学（地方所在 46 大学、首都圏所在 27 大学）を職員が訪問し、日本人・留学生奨学金担当者との意見交換ならびに 500 名を超える貸与・給与奨学生（留学生含む）との面談・懇談を行うとともに、奨学金の趣旨についても説明しました。

3-2. 給与奨学生との懇談・交流

第一種給与奨学生 9 名および第三種給与奨学生（首都圏 5 名）と本年 1 月から 2 月にかけて当会事務所において個別面談の機会をもち、継続希望者を選考しました。また、第一種および第三種給与奨学生とは昨年 12 月に、首都圏所在大学の第二種給与奨学生とは本年 1 月に、それぞれ懇談交流会を実施しました。

4. 研究助成金の支給

研究助成は、指定 73 大学を 2 グループに分け、1 人当たり 200 万円を基準として隔年で募集しています。2012 年度は、36 大学に対して適格者の推薦を依頼しました。〔付表 1 ご参照〕

これに対し 35 大学より計 64 名の推薦があり、6 月 13 日開催の選考委員会において選考の結果、35 大学の 43 名に、総額 8,554 万円の助成金支給を決定しました。

この助成金は、昨年 9 月 4 日丸の内の銀行倶楽部に受給者を招き、文部科学省担当官をはじめ当会役員各位ご出席の下、研究助成金贈呈式を開催し、交付しました。

研究助成金受給者による報告書は、年度毎に研究報告集としてまとめ保存するとともに、関係先に配布して成果を紹介しており、2012 年度は 2011 年度研究助成金受給者の「研究報告集第 30 号」を刊行しました。

公益財団法人 日揮・実吉奨学会
奨学金および研究助成金指定大学一覧

大学コード	大学名	日本人向け 給与奨学金 (人数)	留学生向け給与奨学金			第二種 金額	研究助成金		国 公私
			種別				奇数年	偶数年	
			一	二	三				
01	北海道大学	6		○	○	100		○	
02	東北大学	6		○	○	100	○		
03	東京大学	7	○		○	-	○		
04	京都大学	7		○	○	100		○	
05	大阪大学	6		○	○	100		○	
06	九州大学	6		○	○	125		○	
07	東京工業大学	8	○		○	-	○		
08	横浜国立大学	8	○		○	-		○	
09	岩手大学	4		○		50	○		
10	千葉大学	4		○	○	125		○	
11	新潟大学	4		○	○	50	○		
12	金沢大学	4		○	○	50		○	
13	名古屋大学	6		○	○	100	○		
14	神戸大学	4		○	○	100	○		
15	岡山大学	4		○	○	50	○		
16	広島大学	6		○	○	50		○	
17	徳島大学	4		○	○	50	○		
18	長崎大学	2		○		25	○		
19	熊本大学	4		○		50	○		
20	宮崎大学	4		○		50	○		
21	鳥取大学	4		○		25	○		
22	秋田大学	4		○		50		○	
23	山形大学	4		○		50		○	
24	群馬大学	4		○		50	○		
25	福井大学	4		○		50	○		
26	静岡大学	4		○		75	○		
27	山梨大学	4		○		50	○		
28	名古屋工業大学	4		○	○	100		○	
29	山口大学	3		○	○	50	○		
30	九州工業大学	4		○		50	○		
31	室蘭工業大学	4		○	○	50		○	
32	首都大学東京	4		○	○	50		○	都
33	大阪市立大学	4		○		50	○		市
34	早稲田大学	8	○		○	-		○	私
35	慶應義塾大学	8	○		○	-		○	私
36	芝浦工業大学	5		○		50		○	私
37	東京電機大学	5		○		50	○		私
38	日本大学	6		○		100	○		私
39	中央大学	4		○		50		○	私
40	学習院大学	3				-		○	私
41	東京理科大学	7		○	○	50	○		私
42	千葉工業大学	5		○		50		○	私
43	成蹊大学	4				-		○	私
45	鹿児島大学	4		○	○	50	○		
47	東京都立大学	4		○		75		○	私
48	上智大学	4		○		25	○		私
49	関東学院大学	4		○		25	○		私
50	信州大学	5		○		75		○	
51	大阪府立大学	4	○	○		50		○	府
52	埼玉大学	4	○			75		○	
53	富山大学	4	○			50	○		
54	琉球大学	4	○	○		50	○		
55	茨城大学	4	○	○		50		○	
56	東京農工大学	4	○	○		100	○		
57	岐阜大学	4	○			50	○		
58	愛媛大学	4	○			50	○		
59	北見工業大学	4	○	○		50	○		
60	宇都宮大学	4	○			50		○	
62	佐賀大学	3	○			50		○	
63	大分大学	4	○			25		○	
64	兵庫県立大学	4	○			50		○	県
65	豊橋技術科学大学	4	○			50		○	
66	長岡技術科学大学	4	○			50		○	
67	筑波大学	6	○	○		125		○	
68	工学院大学	5	○			25		○	私
69	東海大学	5	○	○		50		○	私
70	電気通信大学	4	○			75		○	
71	立命館大学	5	○			100		○	私
72	日本女子大学	2				-		○	私
73	東京海洋大学	4	○			50	○		
74	明治大学	5	○			50	○		私
75	同志社大学	4	○			50	○		私
76	お茶の水女子大学	2				-	○		

《2012年度実績》

日本人学生向け奨学金		国外からの留学生向け奨学金		研究助成金（隔年）	
貸与奨学金	86名	3,558	第一種給与奨学金	10名/5大学	1,140
給与奨学金	332名/73大学	9,980	第二種給与奨学金	144名/64大学	3,900
震災特別枠(給与)	72名/7大学	2,160	第三種給与奨学金	16名/31大学	3,348
				43名/35大学	8,554

注) 金額単位：全て万円

東日本大震災支援特別枠（給与）

東北大学：25名、岩手大学：15名、茨城大学：2名、日本大学（郡山校）：14名

東北工業大学：8名、東北学院大学：8名、福島大学：3名（左記3大学は当会の指定大学ではないが、被災地所在の大学として支援）

※上記選考結果後に3名辞退（茨城大学：2名、日本大学：1名）

シャドーの大学は2012年度より第二種給与額を改訂（9校）

増額：No. 26静岡大学、No. 47東京都市大学、No. 50信州大学、No. 52埼玉大学、No. 71立命館大学

減額：No. 21鳥取大学、No. 60宇都宮大学、No. 63大分大学、No. 70電気通信大学

（大学コード欠番：No.44 No.46 No.61）

対象大学：日本人向け給与奨学金 73大学/国外からの留学生向け第一種給与奨学金 5大学、第二種給与奨学金 64大学、第三種給与奨学金 31大学
研究助成金 36大学（偶数年）